

ONE チーム

- ・場に応じた判断ができ、自分でよく考え、考えを広げることができる子（知育）
- ・相手の気持ちをよく考え、互いに手を差し伸べることができる子（徳育）
- ・ルールや規律を守り、正しいと思ったことを進んで実行できる子（徳育）
- ・どんなことにも最後まで粘り強く取り組む子（体育）

経営方針

- ・学び合いの時間を大切にして、自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりして、考えが深まるようにする。
- ・児童一人一人が安心して行動できる学級の雰囲気づくりをするとともに、個々の児童が活躍できる場面を設ける。
- ・道徳科の授業や学級活動などの時間を活用し、善悪の判断について考えたり、個人で目標を立てて生活したりと、日常的にルールや規律について考える機会をつくる。
- ・何事にも全力を尽くすことの大切さを知らせ、児童の頑張りを称賛し、自信とやる気をもたせ、主体的に活動しようとする態度を育てる。

各教科

- ・話し合い活動の中で、聞く力や話す力を高め、自らの考えを深めたり広げたりすることができるようにする。
- ・調べたことや考えたことを相手に分かりやすいようにまとめ、表現する力を育てるように指導する。
- ・問題を解く過程で、さまざまな解き方があることに気付かせ、多様な考え方ができるようにする。
- ・自らの予想や仮説、計画に基づいた観察や実験などの活動を重視した授業を行う。
- ・基本の運動やゲームを通し、誰とでも仲良く、安全に留意して取り組む態度を育てる。
- ・よりよい生活を送るには、どうしたらいいのか考えさせ、実践への意欲付けを図る。

学級活動・生徒指導

【学級活動】

- ・高学年としての自覚をもたせ、優先順位を考えた行動、けじめのある行動を常に意識させる。
- ・個々に目標を立てる機会を設け、目標達成に向けて最後まで努力することを大切にさせ、挑戦していこうとする気持ちを育てていく。
- ・友達と活動する場面を多く設定し、友達のよさに気付いたり、助け合ったりできるようにして、よりよい学級にする意識を高めさせる。

【生徒指導】

- ・いじめや仲間外れを断固として許さないという強い意識をもたせる。
- ・児童の小さなサインや変化を見逃さず、未然防止、早期発見を心がけ、早期解決に努める。

総合的な学習の時間

テーマ 「今、わたしにできること」 ～ふだんの暮らしをシェアせに～

ねらい 「福祉」について考え、自分にできることはどんなことがあるか知る。

調べた情報をもとに、社会の一員として自分たちにできることを考え、まとめ、伝える。

主体的・協働的に課題に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら進んで取り組もうとする。